

2021年2月24日

フォースタートアップス株式会社

コード：マザーズ:7089

住所：106-6036 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー36F

代表者：代表取締役社長兼CEO 志水 雄一郎

問い合わせ先 担当者：取締役兼コーポレート本部長 菊池 烈

電話番号：03（6893）0650

＜マザーズ＞ 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時	2021年2月24日 15：00～16：00
開催方法	ライブ配信
開催場所	当社
説明会資料名	2021年3月期第3四半期決算説明会資料

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料



Startups, Inc.

FY2021-3Q FINANCIAL RESULTS

Oct.2020-Dec.2020

Agenda

1. 会社概要
2. 市場環境
3. 2021年3月期第3四半期業績
4. タレントエージェンシー
5. オープンイノベーション
6. 2021年3月期業績予想と進捗
7. APPENDIX

会社概要



会社名 フォースタートアップス株式会社

英文社名 for Startups, Inc.

設立	2016年9月	経営陣	志水 雄一郎	代表取締役社長 兼 CEO
所在地	東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー 36F		菊池 烈	取締役
正社員数	81名 ※2020年12月末時点		恒田 有希子	取締役
資本金	2億969万円（2020年12月末）		清水 和彦	取締役
事業内容	成長産業支援事業		大原 茂	取締役
取引先企業数	700社以上	備考	齋藤 太郎	社外取締役
職業紹介許可番号	13-ユ-307946		堀内 雅生	社外取締役
			志磨 純子	常勤監査役
			秋元 芳央	社外監査役
			澤田 静華	監査役
			日本経済団体連合会（経団連）会員	
			新経済連盟（新経連）会員	
			日本ベンチャーキャピタル協会（JVCA）CVC会員	
			経済産業省J-Startup Supporters選定企業	

- 2013.4 ウィルグループ子会社セントメディア（現:株式会社ウィルオブ・ワーク）のネットジンザイバンク事業部発足
- 2016.9 会社分割により、株式会社ネットジンザイバンクを新設（ウィルグループ100%出資子会社）
- 2018.3 フォースタートアップス株式会社に社名変更
- 2018.4 日本ベンチャーキャピタル協会入会
- 2018.5 成長産業領域に特化した情報プラットフォーム「STARTUP DB」リリース
- 2019.4 オープンイノベーションサービスを開始
- 2019.7 Crunchbase, Inc.（米国）との業務提携を開始
- 2020.3 東京証券取引所マザーズに上場（証券コード7089）
- 2020.6 一般社団法人日本経済団体連合会（経団連）に入会
- 2020.8 SMBCグループとの業務提携
- 2021.1 新経済連盟（新経連）に入会

Vision



「世界で勝負できる産業、企業、サービス、人を創出し、日本の成長を支えていく」ために、“for Startups”をビジョンとして掲げ、ヒューマンキャピタルを中核とした成長産業支援事業に取り組んでいます。

Value



Startups First

全ては日本の成長のために。
スタートアップスのために。

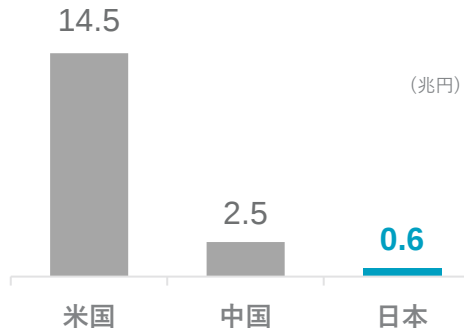
Be a Talent

スタートアップスの最たる友人であり、パートナーであり、自らも最たる挑戦者たれ。そして、自らの生き様を社会に発信せよ。

The Team

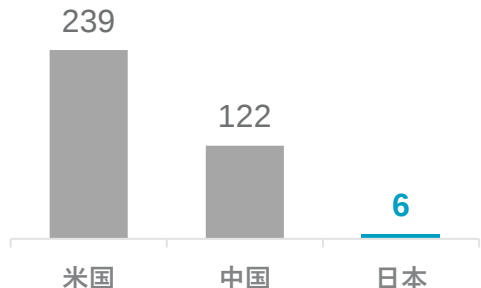
成長産業支援という業は、TEAMでしか成し得られない。仲間のプロデュースが、日本を、スタートアップスを熱くする。

ベンチャー投資額（年間）



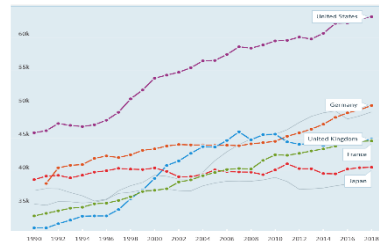
出所）日本：STARTUP DB調べ（2021年2月8日）
米中：VEC「ベンチャー白書2020」より

ユニコーン企業数



出所）日本：STARTUP DB調べ（2021年1月4日）
米中：CB insights The Complete List Of Unicorn Companies（2021年2月1日）

平均賃金



日本：25位（424万円）

*OECD加盟国37カ国中（2019年）

出所）OECD（2020年8月13日） 1USD=110円換算

この30年の間に、米中はGAFAMやBATなどのテクノロジーイノベーション牽引型の新興企業を創出
日本国内の生活水準は、海外と比較して相対的に低下し、今後もさらなる下降傾向にあると推測される



成長産業支援の仕組みを作り、日本の国際競争力を挽回する

当社のポジショニング

ベンチャーキャピタルと一丸となり、スタートアップ企業を支援

米国

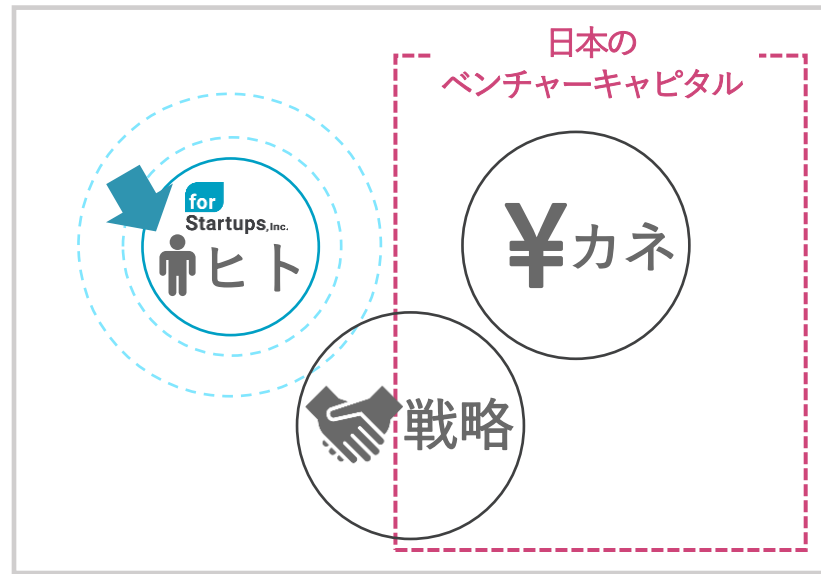


支援



スタートアップ企業

日本



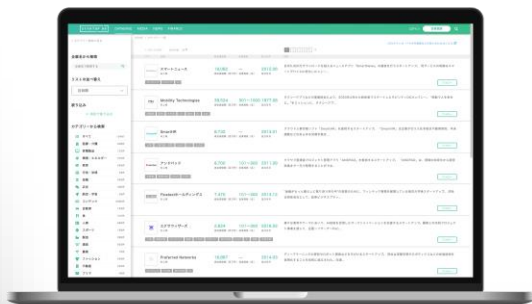
支援



スタートアップ企業

13,000社以上のスタートアップ情報を集約した「成長産業に特化した情報プラットフォーム」

企業情報、資金調達、プロダクト情報、ニュース、インタビュー等を掲載



<https://startup-db.com/>

メディア

週刊東洋経済

会社四季報

DIAMOND SIGNAL

週刊ダイヤモンド

日経産業新聞

Forbes Japan

読売新聞

中日新聞

テレビ朝日

CNET Japan

@DIME

エキサイトニュース

Yahoo!News

週刊アスキー

海外

世界最大級のベンチャーデータベース「Crunchbase」と業務提携

crunchbase

学術研究

東京大学、名古屋市立大学、
東北学院大学、関西学院大学、
大阪大学大学院等との共同研究



政府・公共団体

内閣府やNEDO(国立研究開発法人)事業との連携等

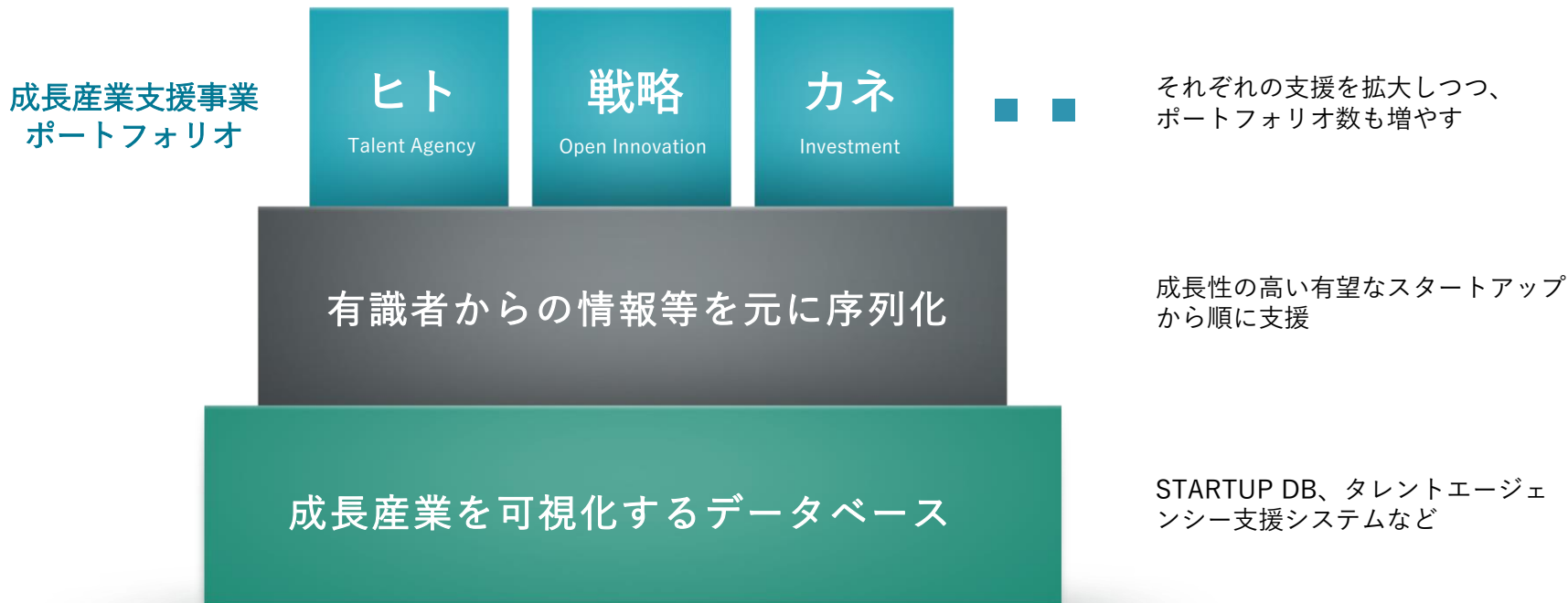
金融機関

SMBCグループと業務提携



データベースを軸にした成長産業支援の仕組み

今後の展望：人・戦略・カネを軸に、政策支援などの事業ポートフォリオも拡大



フォースタートアップスの強み

市場

- ・ベンチャー支援は、国家戦略でもあり長期的に高い成長可能性
(政府のベンチャー支援強化策や、ベンチャー企業に対する税制改等)
- ・オンライン化とDX化による人材獲得競争拡大の波



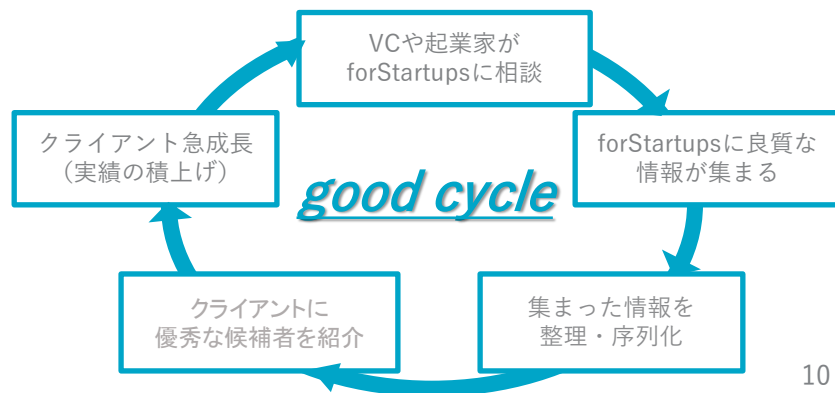
データ ベース

- ・国内最大級の成長産業データベース STARTUP DB
- ・スタートアップに特化したタレントデータベース



仕組み

- ・ベンチャーキャピタルや起業家と直接連携し、有識者からの精度の高い情報を活用したビジネスの仕組み



市場環境

調達市場・VC関連のニュース

日付	ニュース
11/4	iYell株式会社、総額18.5 億円の資金調達を実施、累計調達額は41億円に
11/4	J-GIA、380億円ファンド 中小企業を支援
11/5	5X Gamesが設立、15億円の資金調達...元DeNA China CEOの顧乾俊氏が設立
11/24	新素材「LIMEX」を開発するTBMは、20.6億円の資金調達を実施
12/2	ペプチスター、第三者割当増資で17億9000万円を資金調達 最先端製造技術の開発を加速
12/4	同種由来iPS細胞由来心筋細胞シート実用化を目指す大阪大学発の「クオリプス」が約20億円調達
12/4	i-nest capitalの1号ファンドが総額73億円で組成完了
12/7	ミクシィがエンタメ業界のDXファンド「ミクシィエンターテインメントファンド」の設立完了を発表 第一号案件に米Genies, Inc.
12/8	RPAツールのモンスター・ラボ、政府系ファンドJICから約30億円の資金調達
12/8	インターネット総合サービスのココン、サイバーセキュリティ事業加速で19.5億円を調達——累積調達額は約60億円に
12/8	ウフル、20億円調達 スマートシティーに事業拡大も
12/9	人事や産業保健スタッフの負担を軽減する健康管理クラウド「Carely」が15億円調達
12/9	家族型ロボット「LOVOT」のGROOVE Xが18億円調達、SOMPOホールディングス・日立GLSと資本業務提携
12/30	Spiber、事業価値証券化で250億円を調達——米国での人エタンパク質量産体制構築などで

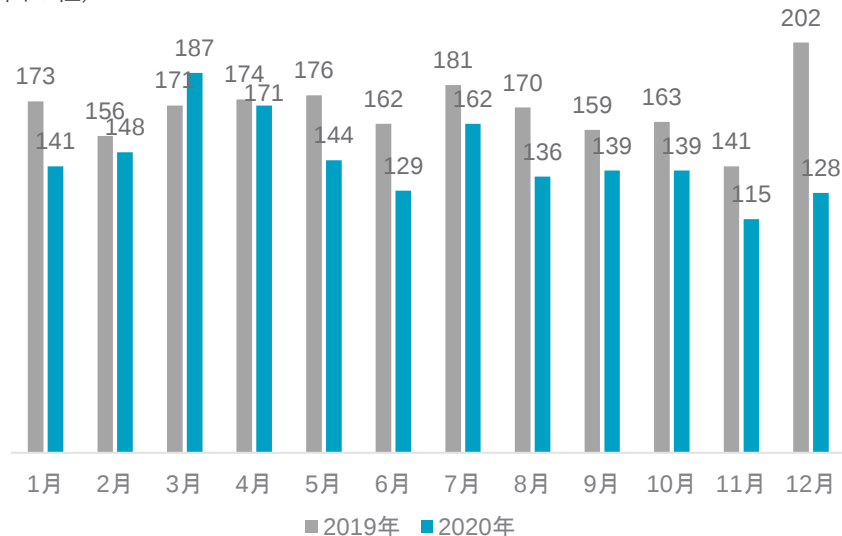
クライアント上場日：プレイド（12/17）、ヤプリ（12/22）、ウェルスナビ（12/22）等

新型コロナウイルスの影響により一時的な落ち込みはあったものの、堅調に推移

調達社数

2020年 計1,739社(YonY△14.3%)
2019年 計2,028社

(単位:社)



注1: 2021年1月27日時点

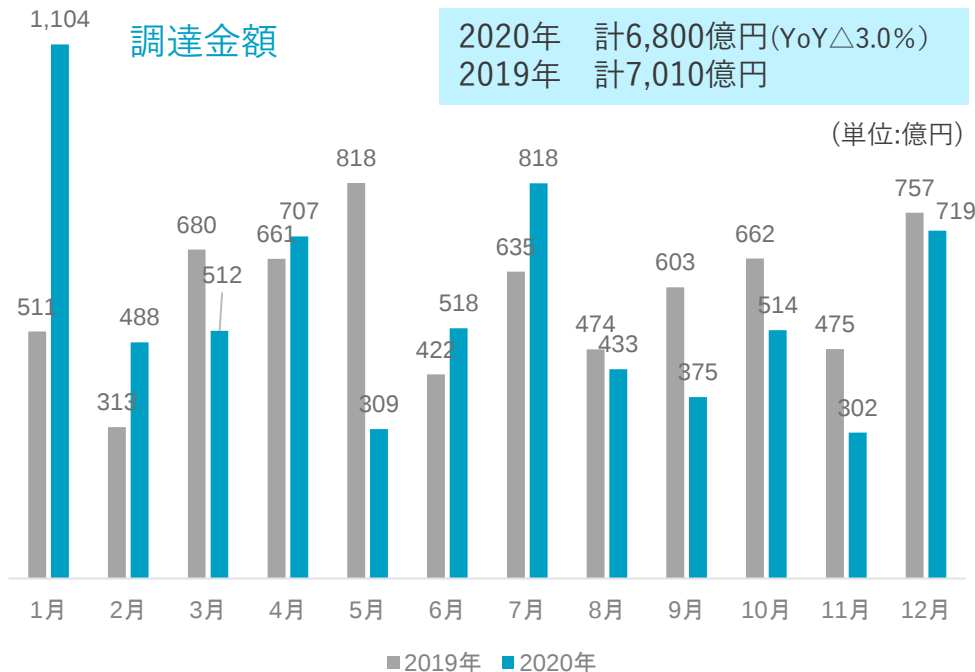
注2: 一部融資や社債での資金調達を含む

注3: INCI主導で設立した企業は除く

調達金額

2020年 計6,800億円(YoY△3.0%)
2019年 計7,010億円

(単位:億円)



注4: 関連会社からの資金調達を除く

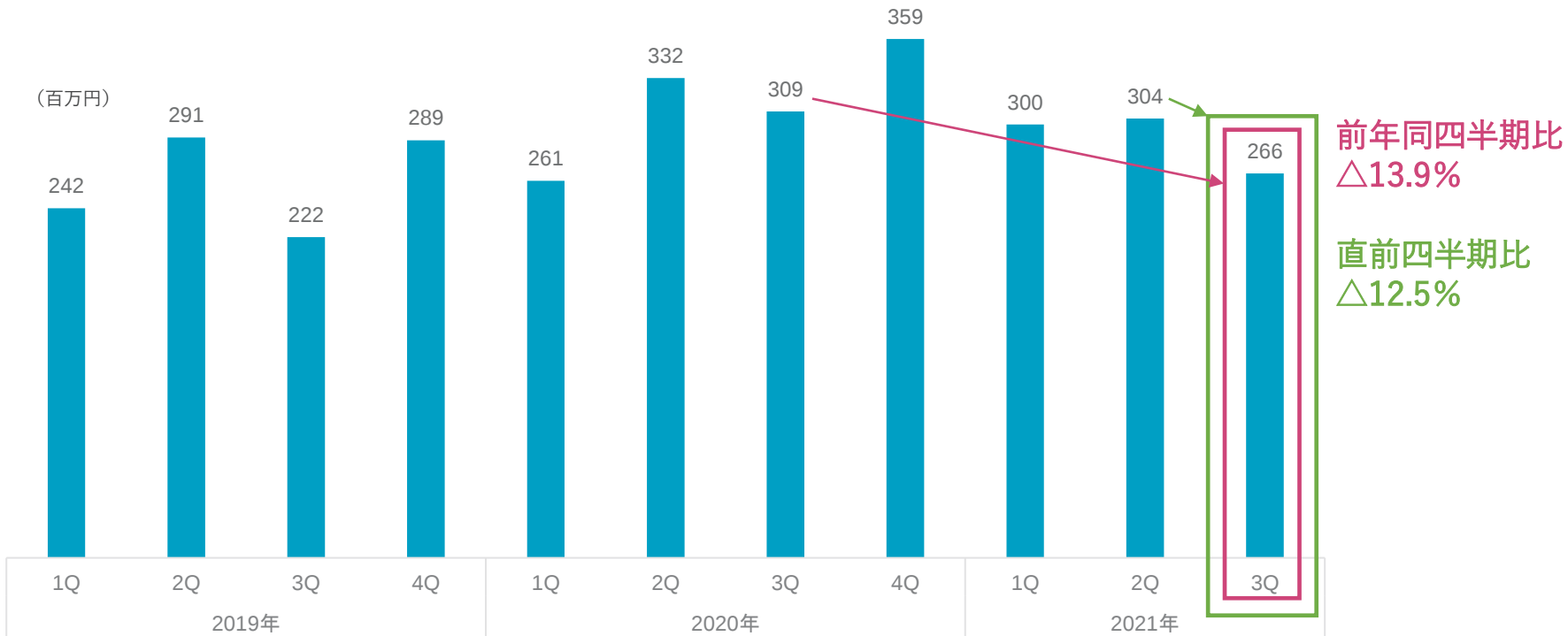
注5: 2Q資料では含んでいたキオクシアホールディングスの3,000億円、9,115億円の融資、1,100億円の融資は、本資料より除く

データ出元: STARTUP DB

2021年 3 月期 第3四半期業績

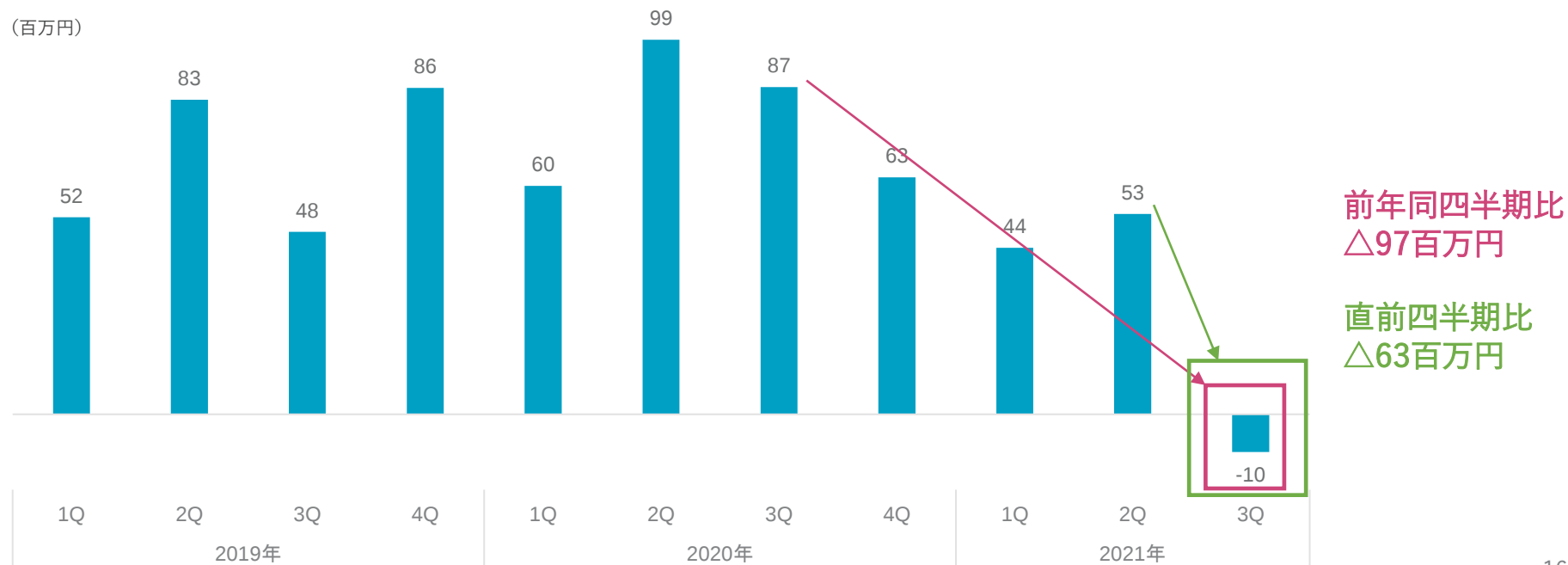
四半期売上高推移

タレントエージェンシーの売上減により、YoY△13.9%



四半期営業利益推移

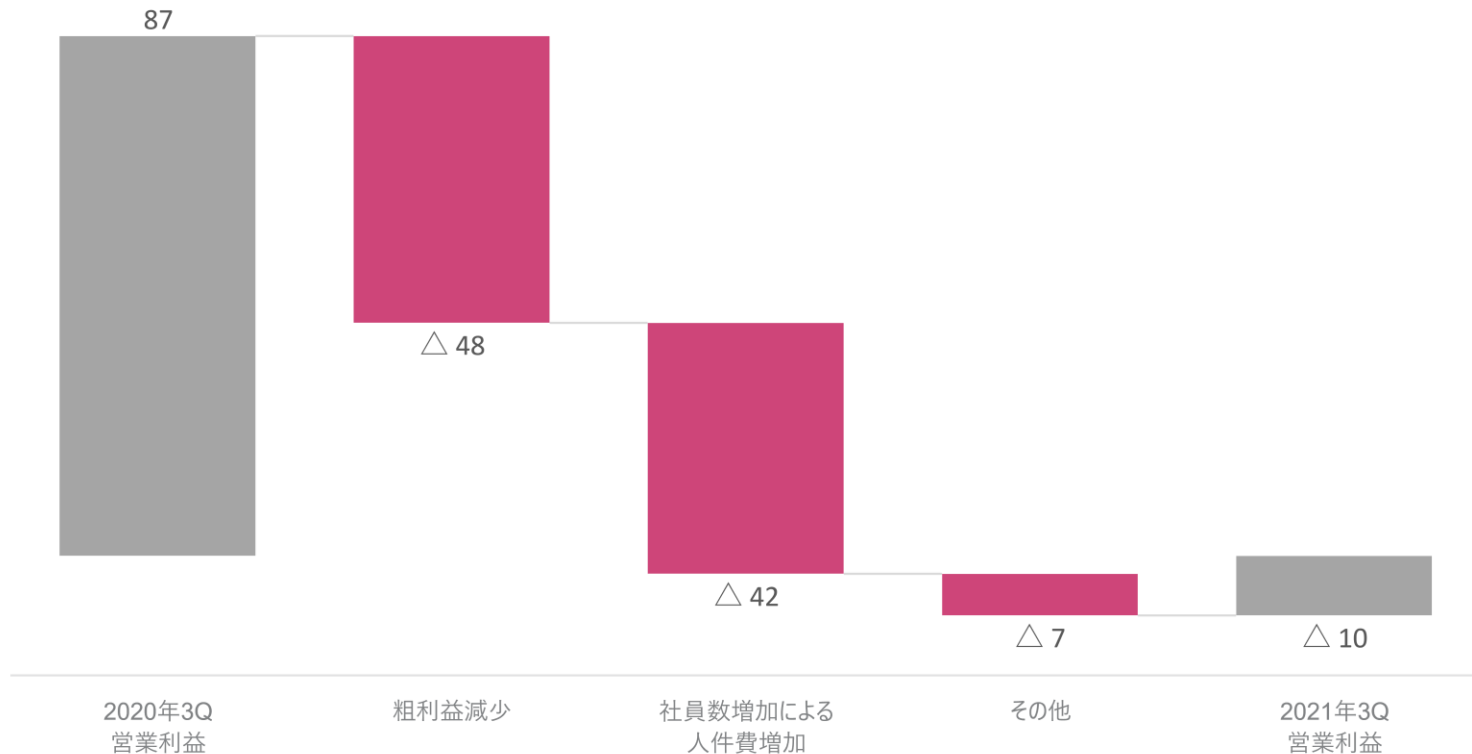
人員増に伴うコスト増等により前年同四半期比△97百万円



営業利益の前年同四半期比分析

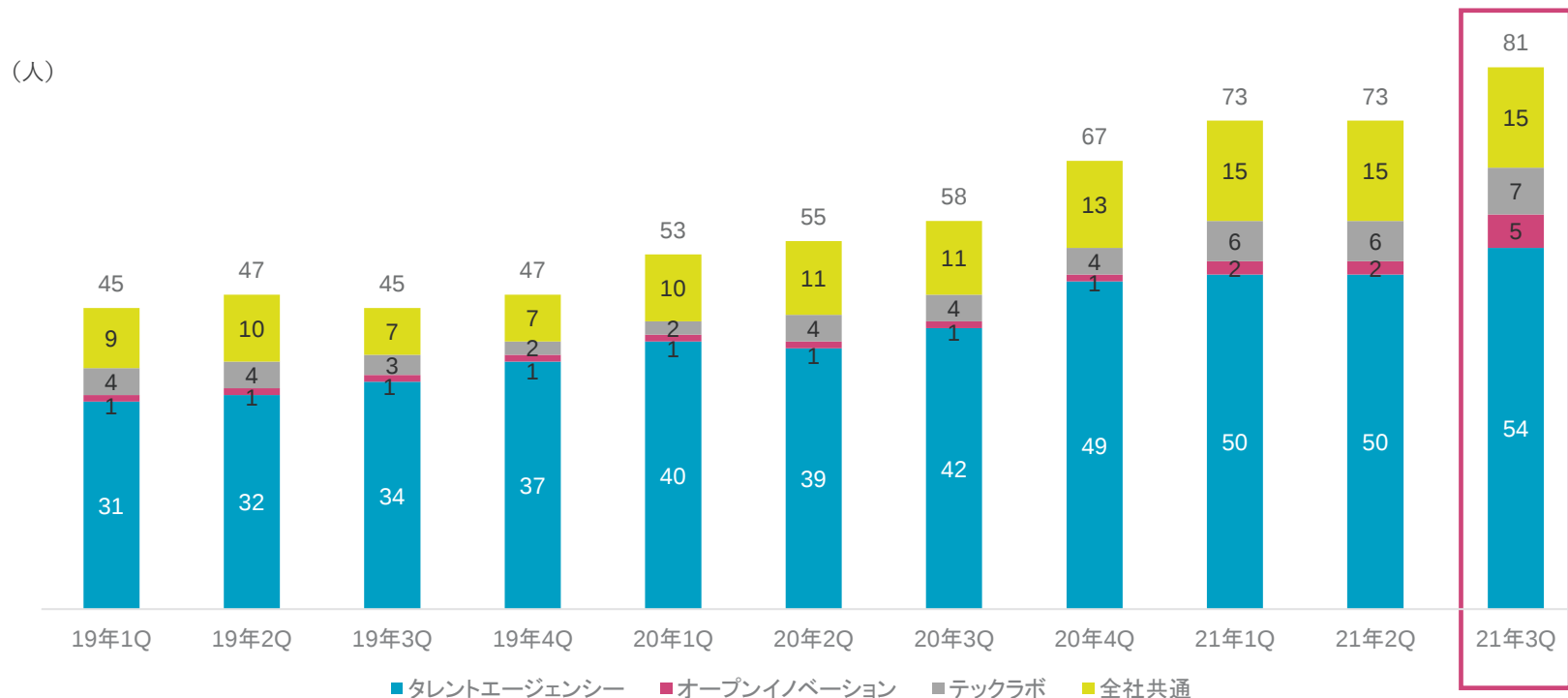
新型コロナウイルスの影響による粗利減、社員数増加（58→81名）による人件費増が要因

（百万円）



正社員数推移

採用強化が計画通りに推移し、順調に社員数は増加（2021年3月期中に100名体制を目指す）

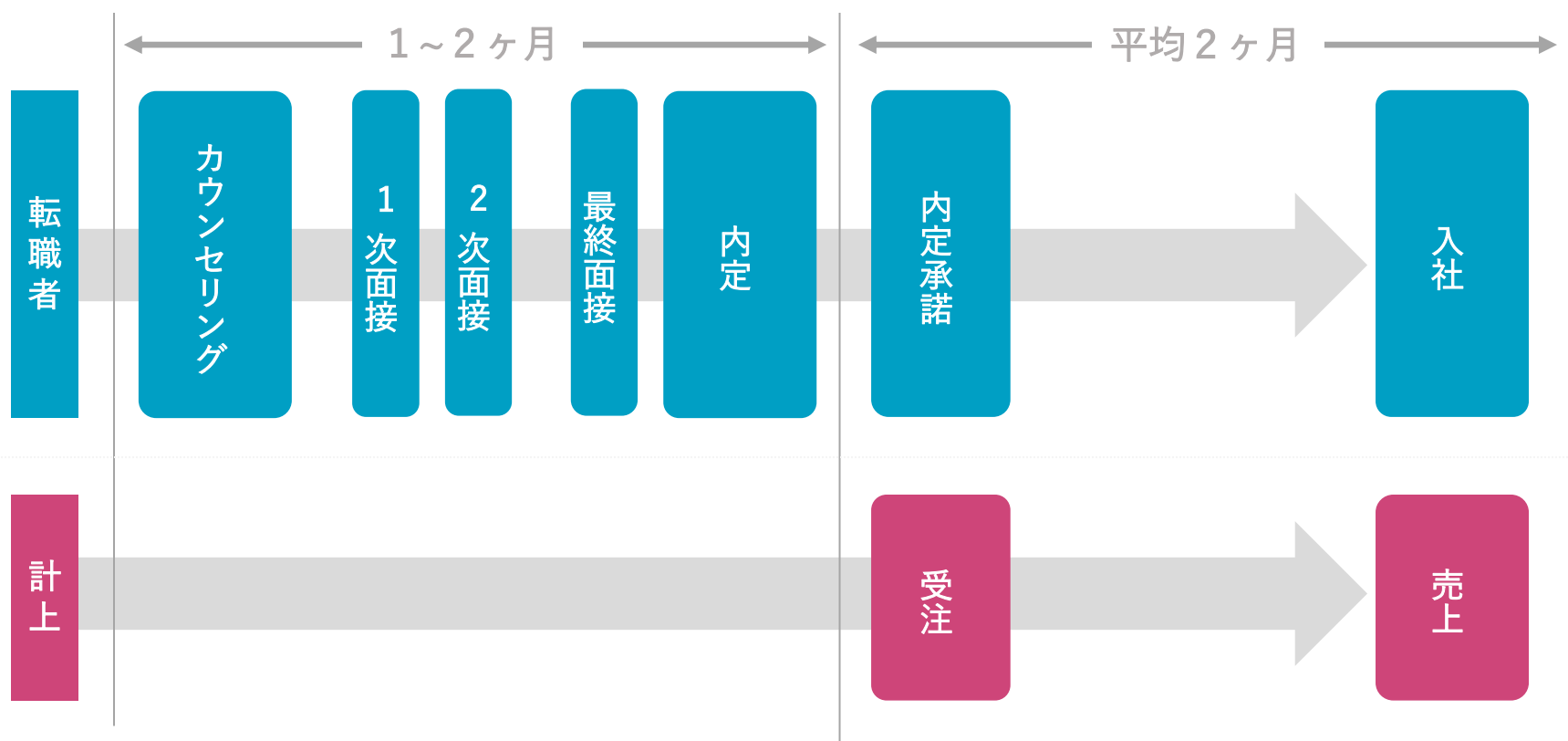


TALENT AGENCY

タレントエージェンシーサービス

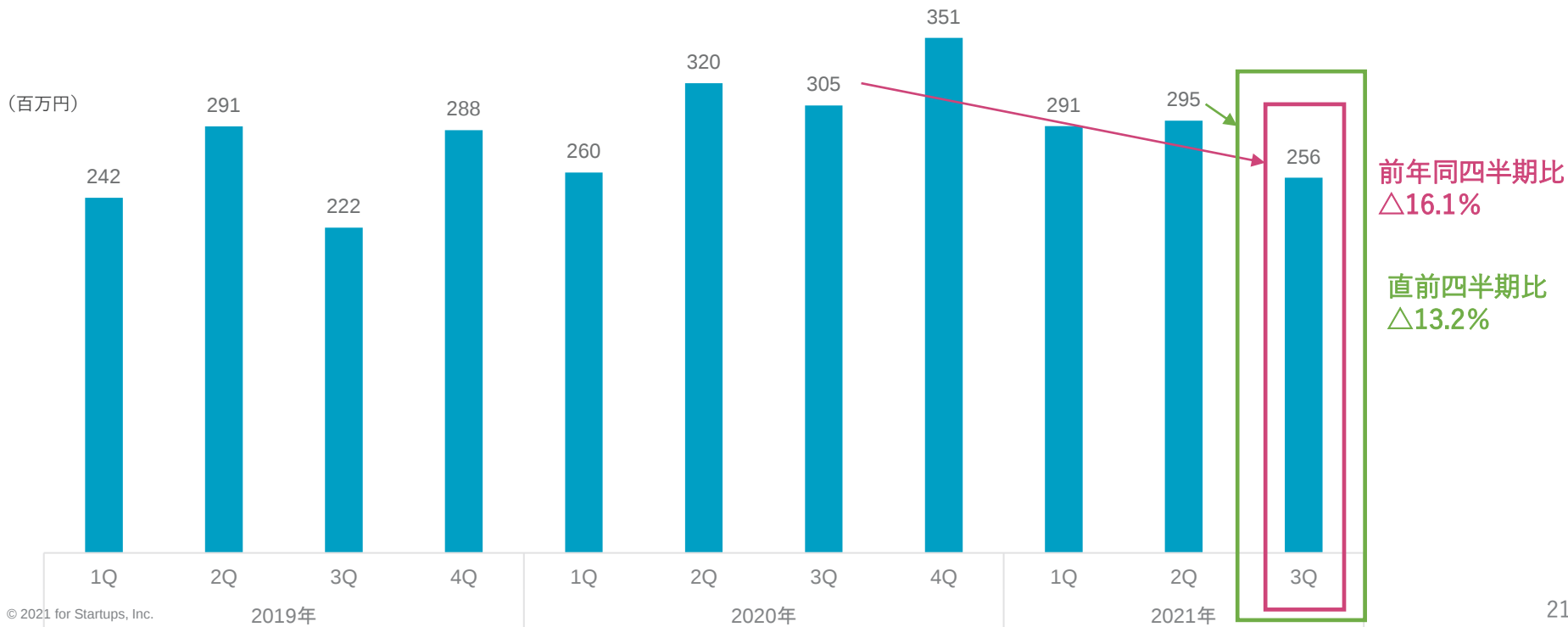
ビジネスフロー

転職者との最初のコンタクト時（カウンセリング）から売上計上まで、平均 3～4 ヶ月



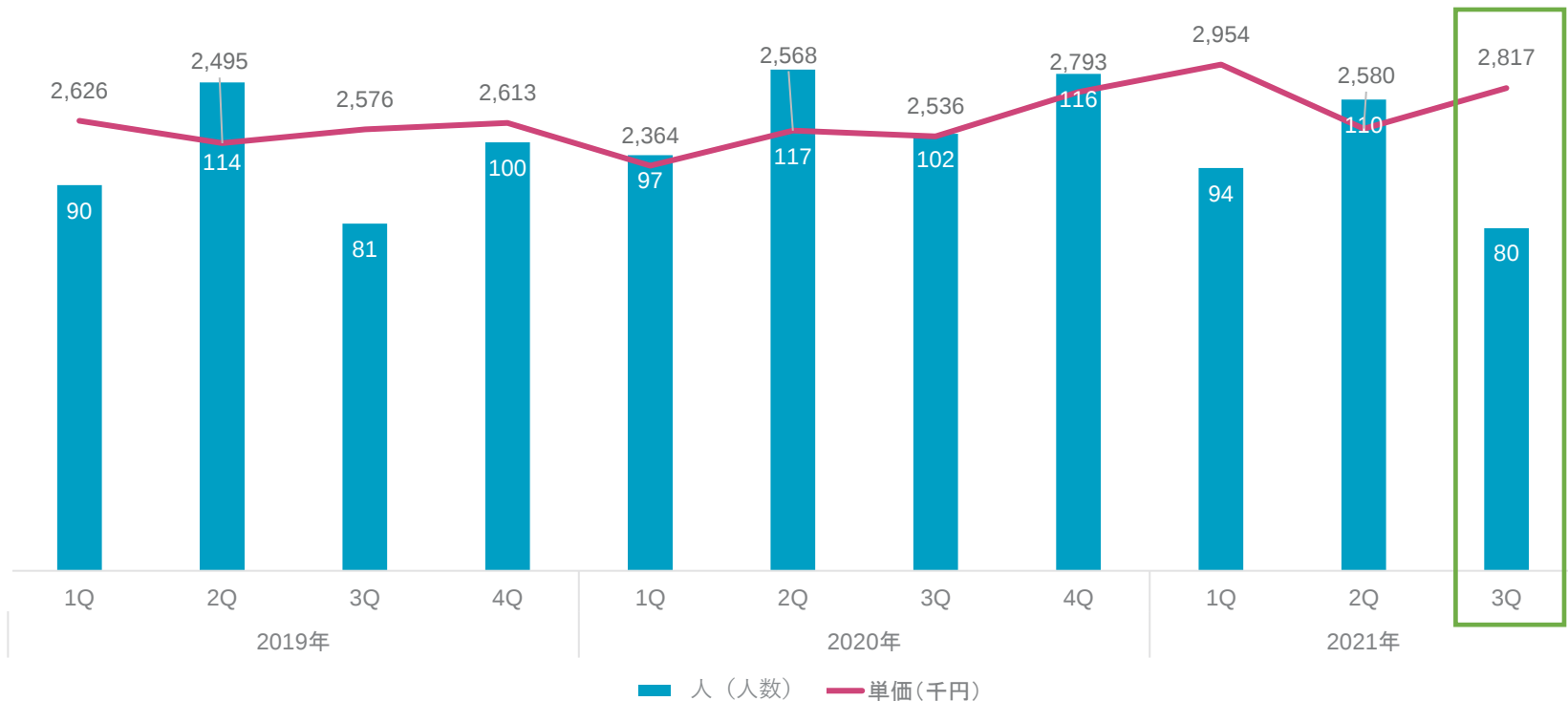
四半期売上高推移

3Q売上高を主に構成する2Q受注額が、新型コロナウイルスの影響によりYoY△14.8%と減少した結果、3Q売上高はYoY△16.1%



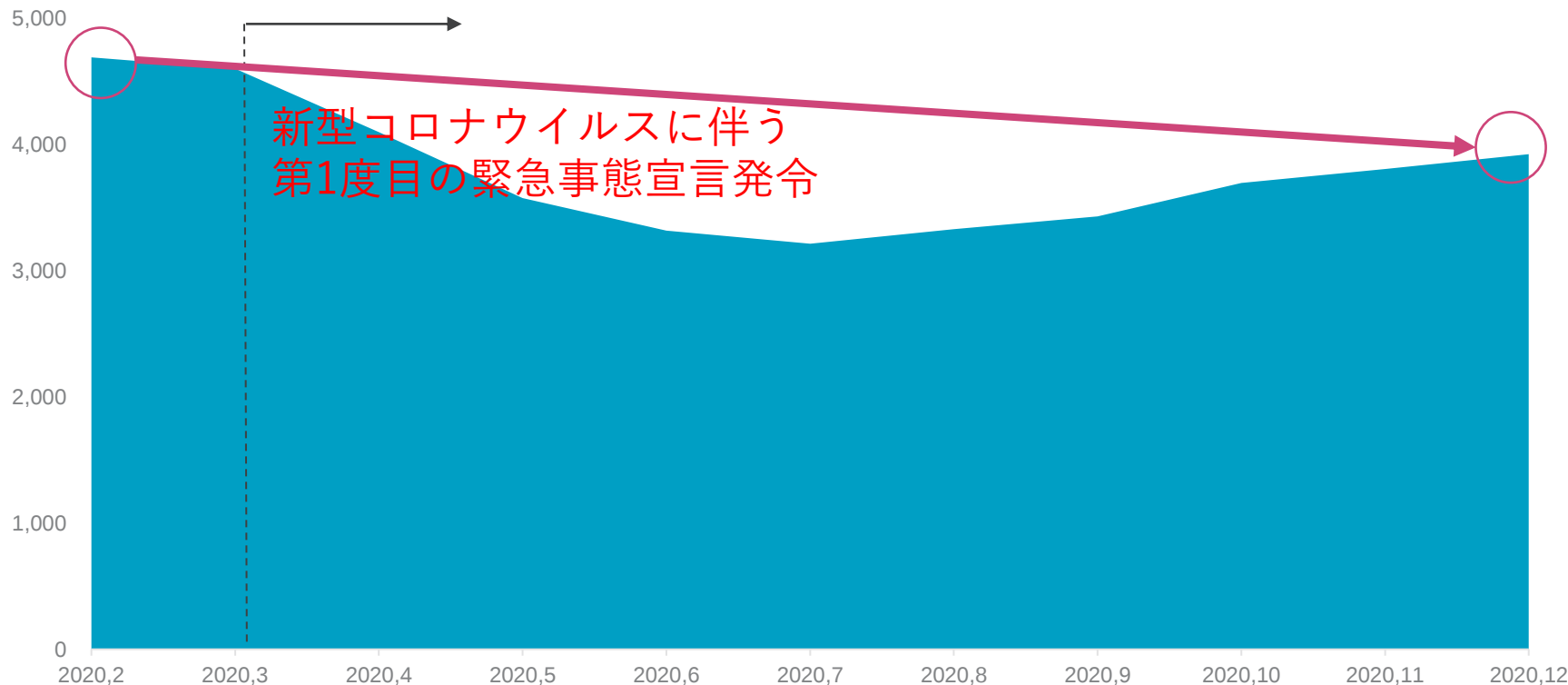
人材紹介 取引数と単価

3Qは季節性により例年落ち込むが、継続的な営業努力により、単価は高水準を維持



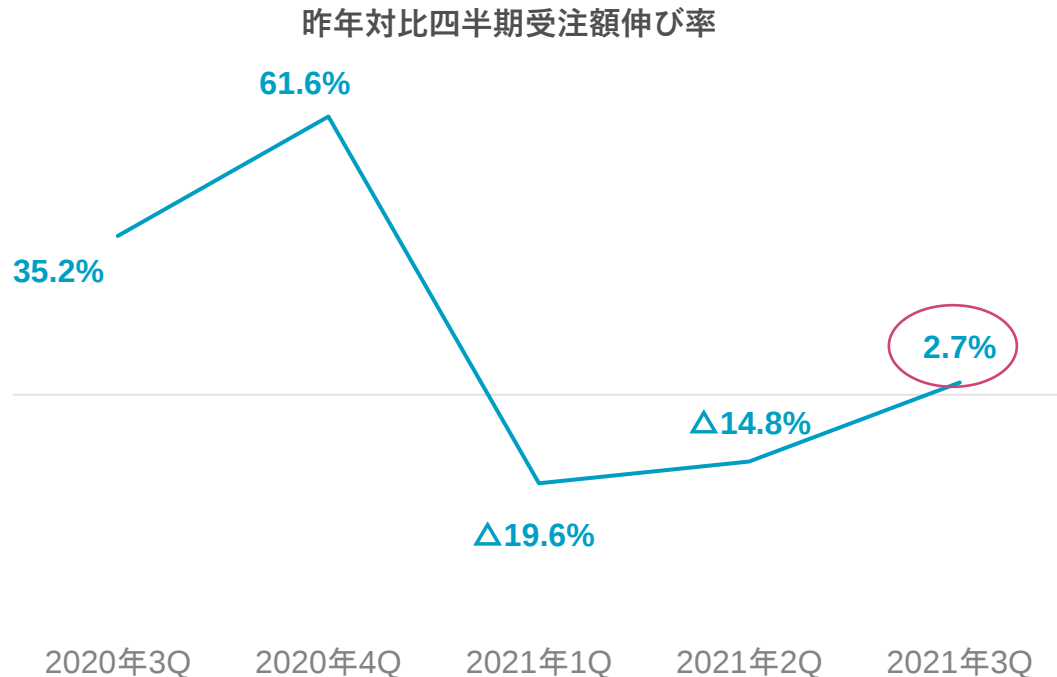
新型コロナウイルスの影響（当社取り扱い求人案件数）

求人案件数は回復傾向にあるものの、12月は2月との比較で16%ダウン 緩やかな回復が継続



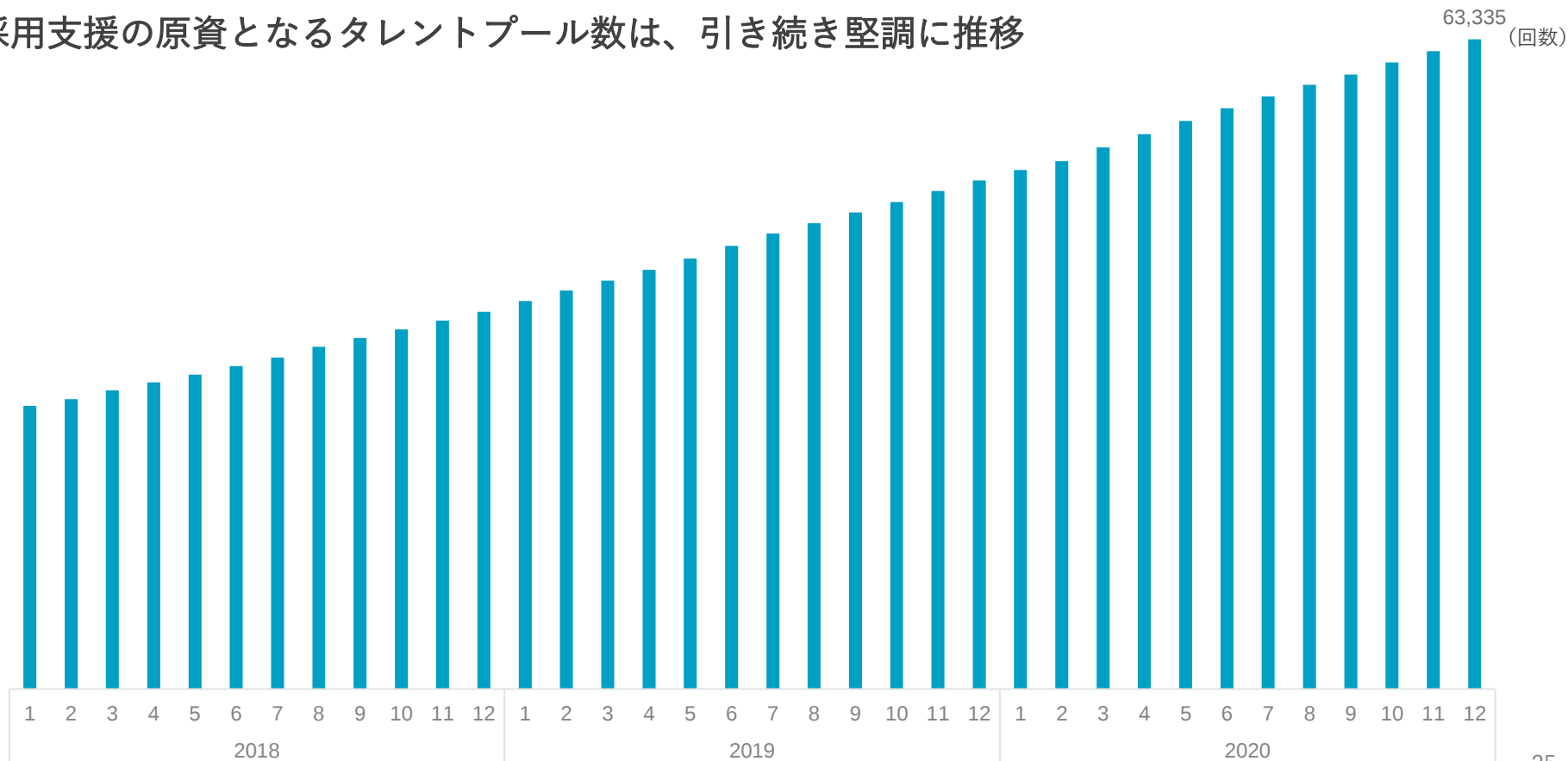
タレントエージェンシー受注額伸び率

- ・ 上期はコロナ影響により受注減、3Qは採用ニーズの高い企業への集中的な支援により、プラス成長
- ・ 四半期受注額及び12月月間受注額ともに過去最高を記録



累計タレントプール数

採用支援の原資となるタレントプール数は、引き続き堅調に推移



VCや研究機関と連携して、スタートアップ起業家を創出

起業支援実績例



ユアマイスター / 星野貴之 CEO（楽天出身） / 2016年8月設立
日本最大級のサービスECプラットフォーム運営



グラファー / 石井 大地 CEO（リクルート出身） / 2017年7月設立
行政サービスのデジタル改革推進



TERASS / 江口亮介 CEO（マッキンゼー出身） / 2019年4月設立
不動産ITサービス運営



Blue Practice / 鈴木 宏治 代表取締役社長（日本IBM出身） / 2019年2月設立
医療シミュレータの開発・製造・販売



*掲載企業のロゴ画像は、各企業に許諾を得て掲載しています。

- ・急成長のスタートアップ103社と新年挨拶を実施
- ・経営陣と強固なリレーションを構築し、採用計画などのヒヤリングを強化

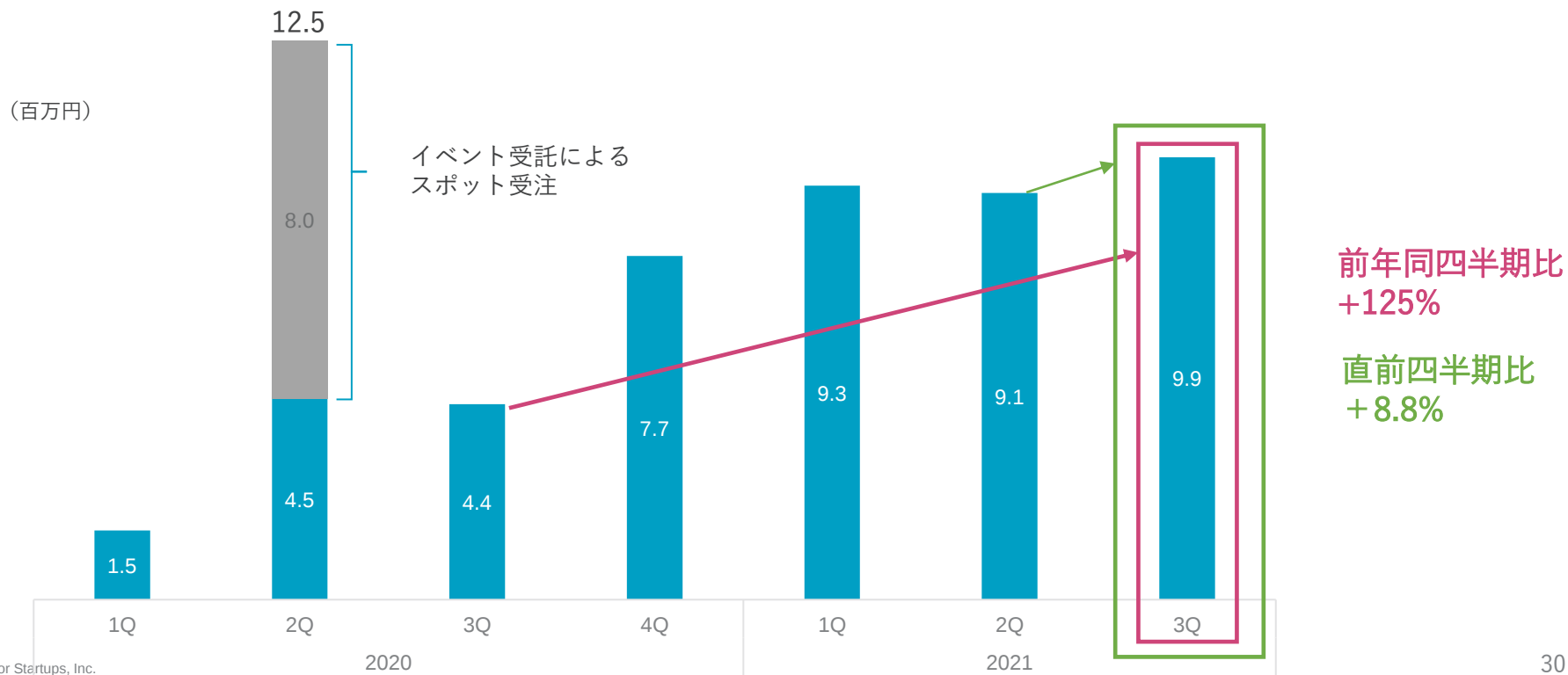
OPEN INNOVATION

オープンイノベーションサービス

目論見書には、アクセラレーションサービスとの記載をしておりましたが、
利用者理解の観点から名称をオープンイノベーションサービスに変更しております。

四半期売上高推移

コロナ禍で市場全体は弱含み傾向だが、公共団体からの受注等により順調に成長



TOPICS：成長産業カンファレンス『FUSE』オンラインイベント開催

1/20開催 聴講登録者数2,400人以上、登壇者数64名、オンライン交流組数3,434組
オープンイノベーション新規クライアント開拓に好影響



Gold Sponsors



NOMURA

Taica

Silver Sponsors

TOPPAN

kewpie



dentsu

後援

Keidanren
Policy & Action

JETRO



東京都

新経済連盟
Japan Association of New Economy



Community Partner



PLUGANDPLAY JAPAN



Media Partner

Forbes

Event Partner



2021年 3 月期 業績予想と進捗

2021年3月期業績予想の考え方

中長期的な売上高成長を目指し、積極的な人員採用と組織基盤の構築を実施

背景

コロナ影響による実質GDP成長率の低下

- ・より一層、スタートアップ市場を盛り上げていく必要性
- ・より早く、スタートアップ市場における影響を拡大する必要性

マーケット

コロナ影響で企業のDX化が加速

リーマンショック時同様
採用市場はパンデミック収束後遅れて回復

社内

営業人材の戦力化に数か月必要

収束後の採用市場活性化を見据え、早めの
採用・育成が必要と判断

組織力強化・採用強化に改めてアクセルを踏む

2021年3月期業績予想に対する進捗

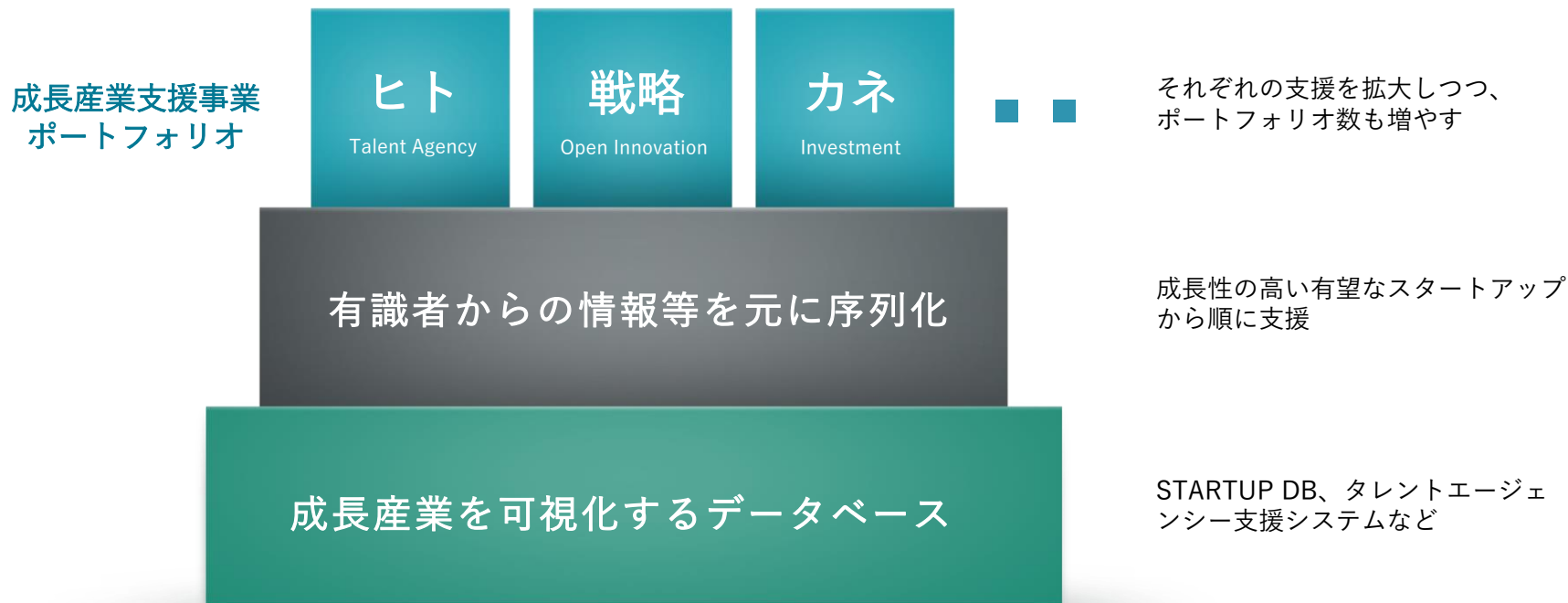
	2021年3月期 業績予想	2020年3月期 (実績)	伸び率	2021年3月期 3Q累計実績	進捗率
売上高	1,170 百万円	1,262 百万円	▲7.4%	871 百万円	74.4%
営業利益	70 百万円	308 百万円	▲77.3%	87 百万円	124.3%
経常利益	75 百万円	287 百万円	▲73.9%	93 百万円	124%
当期純利益	40 百万円	203 百万円	▲80.3%	53 百万円	132.5%

来期以降の売上高成長を見据え基盤整備、採用をより一層加速

項目		方針
事業	タレントエージェンシー	- 採用強化（ヒューマンキャピタリスト60名超体制） - エンジニア採用支援チームの増強 - CXO・ハイタレント支援専門チームの組成
	オープンイノベーション	- 資金調達等の新サービスの開発 - データベース（STARTUP DB）連携・販売 - 政府・自治体との連携強化
全社	人員・管理体制強化	- 採用強化 - 経営管理体制の強化（会社を次のステージへ）

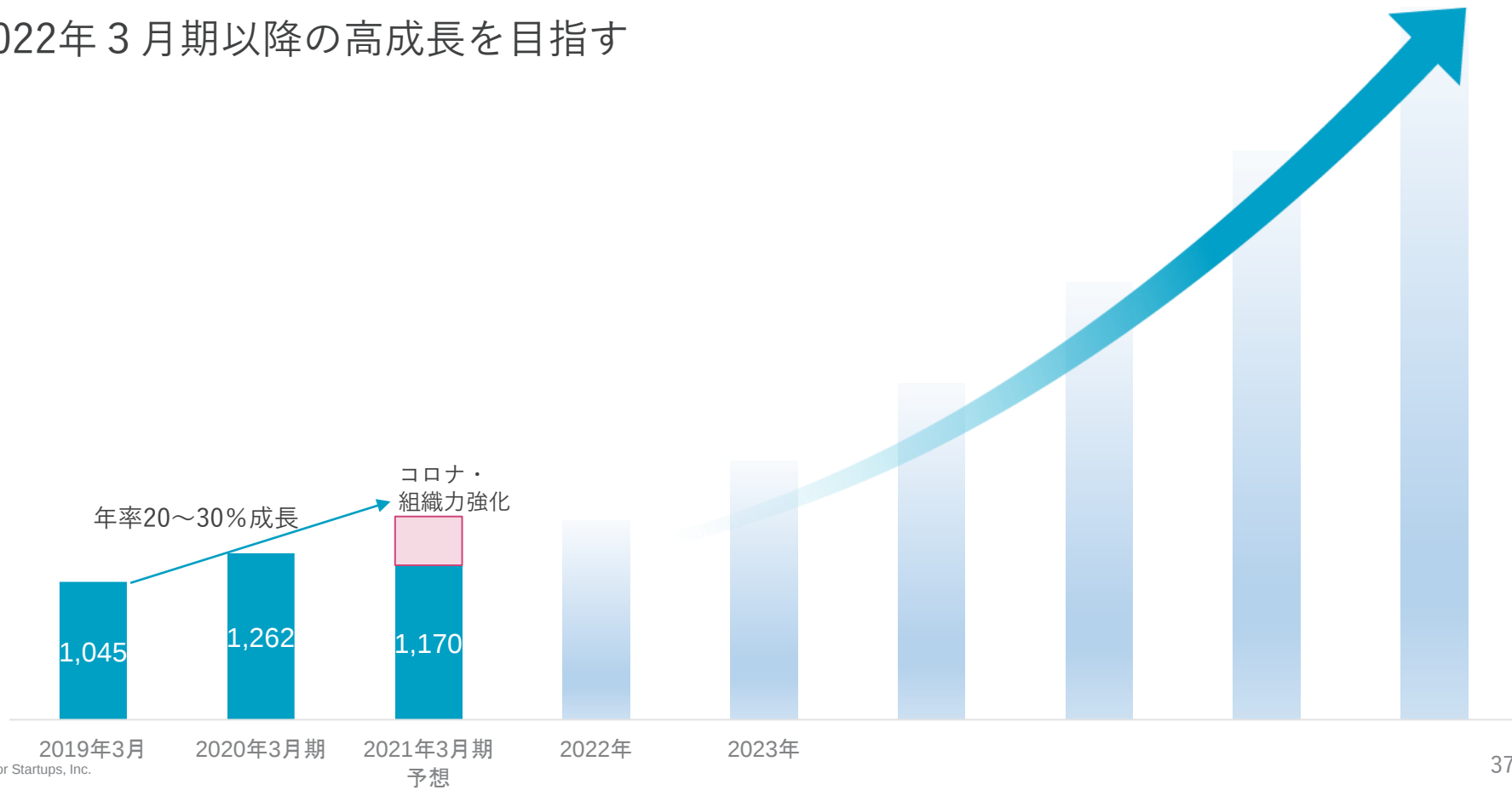
データベースを軸にした成長産業支援の仕組み

今後の展望：人・戦略・カネを軸に、政策支援などの事業ポートフォリオも拡大



中長期売上高成長イメージ

2022年3月期以降の高成長を目指す



for Startups

すべては、スタートアップスのために。

世界で勝てる成長産業・成長企業を日本から生み出す。

APPENDIX

四半期PL 前年同期比較

(単位:百万円)	2020年3月期3Q	2021年3月期3Q	増減
売上高	309	266	△43
売上原価	38	43	+5
売上総利益	271	223	△48
売上総利益率	87.5%	83.8%	△3.7Point
販売管理費	184	234	+50
営業利益	86	△10	△96
営業利益率	28%	△3.9%	△31.9Point
経常利益	85	△10	△95
経常利益率	27.6%	△3.9%	△31.5Point
当期純利益	55	△7	△62

BS 前期末比較

(単位:百万円)	2020年3月期末	2021年3月期3Q末	増減
流動資産	953	1,175	+222
(現金及び預金)	816	1,044	+228
固定資産	177	146	△31
資産合計	1,130	1,321	+191
流動負債	248	222	△26
固定負債	—	100	+100
負債合計	248	322	+74
(有利子負債)	—	166	+166
純資産合計	882	999	+117
負債純資産合計	1,130	1,321	+191

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



すべては、スタートアップスのために。